

自己点検・自己評価 — 2024 年度 —

自己点検・自己評価の取り組み

本校では教育理念を基に養成所としての教育の質の維持・向上を図ることを目的に、自己点検・自己評価を組織全体で取り組んでいます。2024 年度は 9 回目の実施となり、結果を学校運営にフィードバックするよう努力しています。その結果を取りまとめましたので報告いたします。

自己点検・自己評価結果

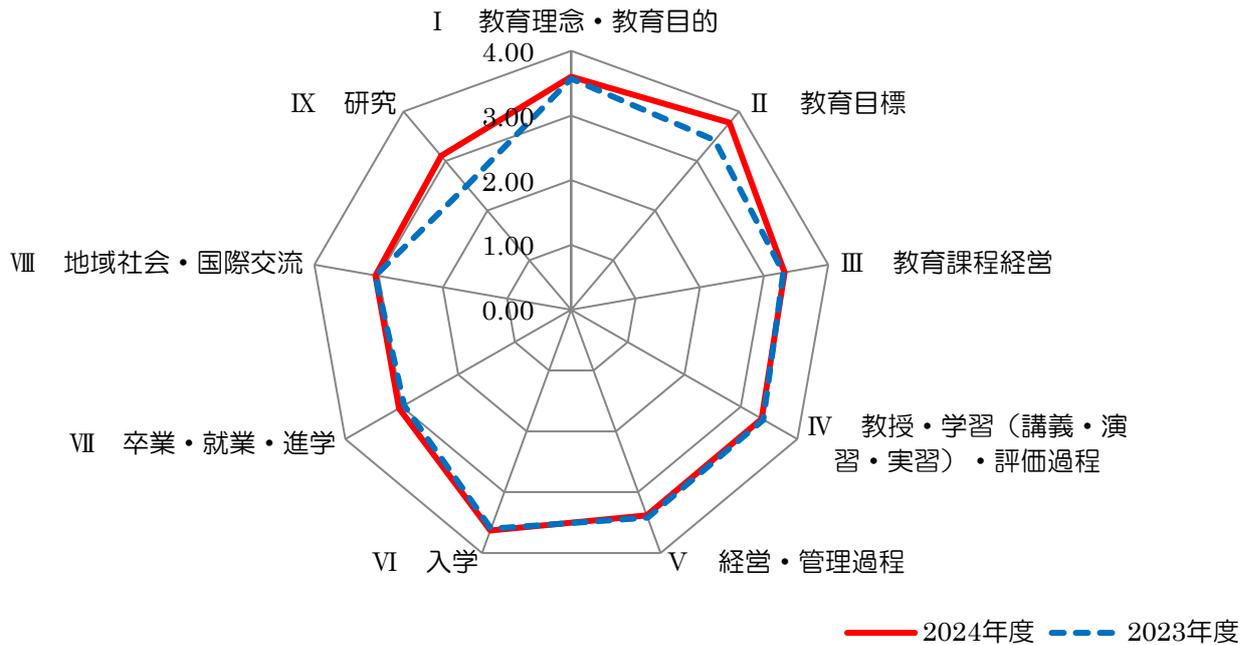
【評価期間】 2024 年 8 月 1 日(木)～8 月 9 日(金)

【対象人数】 常勤職員 13 名
回収率：100%（回答率 99.9%）

【評価方法】 評価は 4 段階とし点数化し集計、平均値を表した。
A：そう思う(4 点)、B：ややそう思う(3 点)……………肯定的評価
C：あまりそう思わない(2 点)、D：そう思わない(1 点)……………否定的評価
※平均値 3.0 点を基準ラインとし結果を分析した。

【評価結果】

大項目	小項目数	2024 年度	2023 年度
I 教育理念・教育目的	8	3.60	3.57
II 教育目標	6	3.77	3.42
III 教育課程経営	29	3.32	3.30
IV 教授・学習（講義・演習・実習）・評価過程	17	3.37	3.40
V 経営・管理過程	36	3.38	3.42
VI 入学	4	3.63	3.60
VII 卒業・就業・進学	7	3.05	2.96
VIII 地域社会・国際交流	7	3.05	3.05
IX 研究	3	3.10	2.50
合計	117	—	—



結果と分析

前回と比較して大項目Ⅶ「卒業・就業・進学」と大項目Ⅸ「研究」が否定的評価から肯定的評価となった。

大項目Ⅶについては卒業時に学生への各種調査やアンケート調査、定期的に就業先との情報交換を行い、その結果を教員にフィードバックしていることを反映していると考えられる。

学生の卒業時および卒業後の活動状況を把握し、評価する取組みをカリキュラム評価（教育理念・教育目的、教育目標、授業展開の活用）とつなげることが必要である。同法人病院への就職者が平均 8 割、年度によっては 9 割以上となる当校の特徴から、看護部の協力も得て、今後も卒業生の状況・具体的な評価を得ていく。

大項目Ⅸは否定的評価が続いていたが、肯定的評価へ転じた。理由として教育課程評価部門活動や新カリキュラム評価活動も研究的な活動であると理解が深まったことが考えられる。8 月には北海道看護教育施設協議会渡島桧山地区、看護継続研修会に教員全員で参加することで自身の専門領域についての意見交換や他校の教育状況を学ぶことができた。また、研修については、研修出張を各教員に年 1 回の機会を保障しており、その機会を活用している教員もいるが、まだ全員ではない。研究の必要性の理解を深めるとともに業務調整をしながら参加できる体制を引き続き強化していく。